

六会地区防災リーダーニュース

平成25年度 第19回六会地区総合防災訓練開催

11月3日（日）1,033名が参加

加藤実行委員長あいさつ

このたび、第19回六会地区総合防災訓練の実行委員長を務めさせていただきました加藤です。11月3日に、藤沢市消防防災訓練センターで行われた総合防災訓練には、1,000名以上の皆さまに参加していただきました。ありがとうございました。

防災訓練というのは、災害に遭ってしまった場合に、どうすればいいのかを体験できる場です。また、訓練を見学することで、災害時にあわてないで行動することの意識が高められます。そのためにもぜひ、来年度の防災訓練にも多数の参加をいただきたいと思います。

最後に、防災訓練を無事に終わることが出来ましたのも役員をはじめ実行委員の方々、各自治会の防災リーダーの方々のご協力があったのことに感謝しております。今後も更なる地域住民の防災意識の高揚を目指すため、皆様のご理解・ご協力をよろしく願いいたします。



開会式



応急救護訓練



救出訓練



消防団操法訓練

「起震車体験訓練を経験して」（大山）

今回の訓練で、起震車を初めて体験しました。想像を超える震動と衝撃により、大地震の恐ろしさをつぶさに実感し、本当の地震の時には何も出来ないのではと思いました。これを機に、日頃から家庭内で身の安全を確保する方法を確認し合い、災害時にはすぐに避難行動が出来るようにしたいと思いました。皆さんも一度、貴重な体験をすることをお勧めします。



起震車体験訓練

「防災意識を高める1日でした」（虹の原）

今回で19回目になる六会地区総合防災訓練に、私自身参加したことがありませんでした。5月から当日に至るまで会合に3回出席し、役員、各自治会からの出席者の話を聞く中で、防災に対する意識がより強くなりました。さらに、配布資料には具体的ですぐ実践できる内容も書かれていました。ぜひ回覧・掲示などで自治会内の皆さんにお知らせしていきたいと思います。

防災訓練当日の午後、私たちの自治会では芋煮会を併せて行い、防災意識を高めるとともに、絆を深める楽しい1日となりました。地震・風水害がなく穏やかな日が続くときこそ、出来ることから準備していきたいと思います。

「六会地区総合防災訓練に参加する意義」（ダイアパレス湘南台Ⅱ）

私どもダイアパレス湘南台Ⅱ自治会では、毎年4月に自主防災会による総合防災訓練を実施しています。訓練内容は六会地区総合防災訓練を参考にしています。

毎年、防災委員は奇数・偶数部屋で変わります。そのため、初めての人や不慣れな人もいれば、班長が変わることもあります。班長は六会地区総合防災訓練を予行練習として認識し、自分が担当している訓練をしっかりと体験することにより、2014年に実施する防災訓練に活かすことにしています。今回も防災委員を含めた二十数名が訓練を体験しました。各自、防災意識を高めてくれたことと思います。